



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月29日

上場会社名 トランコム株式会社
コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 神野 裕弘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部担当

(氏名) 新田 大輔 TEL (052)939-2011

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	128,537	0.5	5,715	△0.2	5,781	△1.9	3,703	△21.3
2023年3月期第3四半期	127,850	4.4	5,726	△7.4	5,894	△6.1	4,709	16.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,004百万円 (△31.3%) 2023年3月期第3四半期 5,826百万円 (37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	393.78	392.77
2023年3月期第3四半期	486.94	485.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	73,679	50,249	67.4	5,338.54
2023年3月期	72,045	48,953	67.3	5,090.63

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 49,688百万円 2023年3月期 48,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	ー	68.00	ー	60.00	128.00
2024年3月期	ー	66.00	ー	ー	ー
2024年3月期 (予想)	ー	ー	ー	66.00	132.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,770	2.4	7,100	△4.5	7,170	△5.3	4,650	21.2	496.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	10,324,150株	2023年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,016,653株	2023年3月期	800,929株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	9,406,082株	2023年3月期3Q	9,670,981株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2023年12月31日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ61,500株及び62,244株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、原材料や燃料価格の高騰、円安等を背景とした物価上昇など、不透明な経済状況が続いております。また、2024年4月から施行されるトラックドライバーの時間外労働時間の上限規制や恒常的なトラックドライバー不足等、輸送能力の確保に向け更なる効率化が求められております。

このような状況の中、当社グループは、物流における様々な課題解決に向けて、中期経営計画「TRANCOM VISION 2025」において「はこぶ」を創造する」を掲げ、「はこぶ」仕組みづくりに取り組んでおります。

具体的な取り組みとして、ロジスティクスマネジメント事業においては、北関東エリア（埼玉県蓮田市）で構築した日用品・菓子物流プラットフォームを全国で構築するため、今期は新たなC-AREA（※）拠点を南関東エリア（神奈川県厚木市）と中部エリア（愛知県一宮市）に開設いたしました。2024年8月には関西エリア（大阪府茨木市）への開設を予定しております。

物流情報サービス事業においては、今後増加が見込める輸送ニーズに対応するため、新たなエリアへの情報センターの開設や各拠点での中ロット貨物の取り扱い強化に取り組ましました。

海外事業においては、2023年10月にマレーシアに現地法人を開設、またASEAN地区での事業展開加速のため、各国（タイ・シンガポール・マレーシア）を統括するASEANグループを新設しました。

※C-AREA とは、当社の求貨求車や中ロット混載輸送、パレット回収、物流センター内業務の自動化など、独自のサービスやノウハウを有した大型複合機能拠点の総称

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は以下のとおりであります。

(トランコムグループの連結経営成績)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
売上高	127,850	128,537	686	0.5
営業利益	5,726	5,715	△10	△0.2
経常利益	5,894	5,781	△113	△1.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,709	3,703	△1,005	△21.3

(事業セグメント別の経営成績)

(単位：百万円)

		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率 (%)
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	41,657	42,763	1,105	2.7
	営業利益	3,177	3,258	80	2.5
物流情報サービス 事業	売上高	70,371	70,690	318	0.5
	営業利益	2,059	1,804	△255	△12.4
インダストリアル サポート事業	売上高	4,356	4,364	8	0.2
	営業利益	223	126	△96	△43.2
その他	売上高	12,665	12,069	△595	△4.7
	営業利益	502	607	105	21.0
連結消去	売上高	△1,199	△1,349	△149	—
	営業利益	△235	△80	154	—
連結合計	売上高	127,850	128,537	686	0.5
	営業利益	5,726	5,715	△10	△0.2

ロジスティクスマネジメント事業については、売上高は北関東エリア（埼玉県蓮田市）での日用品の物流業務の寄与に加え、新たなカテゴリーの物流業務が拡大したことにより増収となりました。営業利益は、新たなC-AREAの開設に伴う先行費用の計上はありましたが、北関東エリアでの日用品及び菓子の業界別プラットフォーム構築が利益貢献し増益となりました。

物流情報サービス事業については、中ロット貨物の取り扱いが増加したことにより貨物情報数は前年同期比1.3%増加、一方で空車情報数は同2.9%減少、成約件数は同0.9%増加となりました。売上高は、成約件数が増加したことにより増収となりました。営業利益は、新たな拠点の開設とそれに伴う人員増加、適正な運賃の支払いにより減益となりました。

インダストリアルサポート事業については、売上高は、海外での生産増加により増収となりました。営業利益は、国内における既存拠点での生産縮小やそれに伴う稼働人員の減少により減益となりました。

その他に区分される海外拠点においては、2023年1月～9月の業績が連結されております。前期に情報システム外販事業の譲渡を行ったことによる減収要因はありましたが、海外シンガポール拠点でのビルメンテナンス事業の需要が回復し、減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較分析は次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、売上高の増加に伴い受取手形、売掛金及び契約資産が1,859百万円、自己株式の取得に備え預金から振替えたことにより預け金が471百万円、賃貸借契約などにより前払費用が200百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が2,750百万円減少したことなどにより9百万円減少し、48,982百万円となりました。

固定資産は、設備投資などにより有形固定資産が1,115百万円、無形固定資産が310百万円、株式の取得及び保証金の差入れなどにより投資その他の資産が218百万円、それぞれ増加したことなどにより1,643百万円増加し、24,697百万円となりました。これらにより資産合計は、1,634百万円増加し73,679百万円となりました。

② 負債

流動負債は、夏季賞与の概算社会保険料などにより未払費用が324百万円増加した一方、買掛金が266百万円、確定納付及び中間納付などにより未払法人税等が819百万円、それぞれ減少したことなどにより501百万円減少し、18,579百万円となりました。

固定負債は、設備投資などによりリース債務が705百万円増加したことなどにより839百万円増加し、4,849百万円となりました。これらにより負債合計は、337百万円増加し23,429百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が2,498百万円増加したことなどにより1,296百万円増加し50,249百万円となり、自己資本比率は67.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月30日の「2024年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,450	19,700
受取手形、売掛金及び契約資産	25,192	27,051
商品	27	40
仕掛品	2	9
貯蔵品	24	22
前払費用	842	1,042
預け金	—	471
その他	453	644
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,991	48,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,455	10,591
減価償却累計額	△5,520	△5,753
建物及び構築物(純額)	4,935	4,838
機械装置及び運搬具	8,612	9,472
減価償却累計額	△6,537	△7,134
機械装置及び運搬具(純額)	2,074	2,337
土地	3,005	3,005
リース資産	2,336	2,284
減価償却累計額	△1,964	△2,074
リース資産(純額)	372	209
使用権資産	3,212	4,173
減価償却累計額	△1,147	△1,096
使用権資産(純額)	2,065	3,076
建設仮勘定	422	526
その他	1,875	2,016
減価償却累計額	△1,231	△1,376
その他(純額)	643	640
有形固定資産合計	13,520	14,635
無形固定資産		
のれん	351	302
ソフトウェア	1,160	1,126
ソフトウェア仮勘定	299	738
顧客関連資産	241	199
その他	150	147
無形固定資産合計	2,203	2,514
投資その他の資産		
投資有価証券	4,201	4,187
繰延税金資産	356	182
差入保証金	2,552	2,946
その他	236	247
貸倒引当金	△18	△16
投資その他の資産合計	7,329	7,547
固定資産合計	23,053	24,697
資産合計	72,045	73,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,582	12,315
リース債務	648	777
未払金	1,723	1,756
未払費用	1,302	1,627
未払法人税等	1,247	427
未払消費税等	563	613
賞与引当金	614	273
役員賞与引当金	—	23
その他	399	764
流動負債合計	19,081	18,579
固定負債		
リース債務	2,024	2,729
繰延税金負債	60	49
再評価に係る繰延税金負債	53	53
株式給付引当金	356	390
役員株式給付引当金	374	409
退職給付に係る負債	97	91
資産除去債務	681	757
その他	359	366
固定負債合計	4,010	4,849
負債合計	23,091	23,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,642	1,660
利益剰余金	47,548	50,047
自己株式	△3,111	△4,634
株主資本合計	47,159	48,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	659	490
土地再評価差額金	△44	△44
為替換算調整勘定	707	1,091
退職給付に係る調整累計額	△3	△2
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,534
新株予約権	100	100
非支配株主持分	374	460
純資産合計	48,953	50,249
負債純資産合計	72,045	73,679

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	127,850	128,537
売上原価	119,366	120,384
売上総利益	8,484	8,153
販売費及び一般管理費	2,757	2,437
営業利益	5,726	5,715
営業外収益		
受取利息及び配当金	38	45
持分法による投資利益	92	48
助成金収入	113	37
その他	71	90
営業外収益合計	317	221
営業外費用		
支払利息	92	128
固定資産除却損	1	8
その他	55	18
営業外費用合計	149	156
経常利益	5,894	5,781
特別利益		
関係会社株式売却益	1,343	—
特別利益合計	1,343	—
特別損失		
減損損失	52	51
災害による損失	—	6
特別損失合計	52	57
税金等調整前四半期純利益	7,185	5,723
法人税、住民税及び事業税	2,276	1,732
法人税等調整額	133	233
法人税等合計	2,409	1,966
四半期純利益	4,775	3,757
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,709	3,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	53
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	205	△169
為替換算調整勘定	842	415
退職給付に係る調整額	1	1
その他の包括利益合計	1,050	247
四半期包括利益	5,826	4,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,719	3,919
非支配株主に係る四半期包括利益	106	85

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定の記載について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,649	70,302	4,320	116,273	11,577	127,850	—	127,850
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	69	35	112	1,087	1,199	△1,199	—
計	41,657	70,371	4,356	116,385	12,665	129,050	△1,199	127,850
セグメント利益	3,177	2,059	223	5,460	502	5,962	△235	5,726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△235百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、のれんの償却額△229百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	42,746	70,612	4,266	117,625	10,911	128,537	—	128,537
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16	77	98	192	1,157	1,349	△1,349	—
計	42,763	70,690	4,364	117,817	12,069	129,887	△1,349	128,537
セグメント利益	3,258	1,804	126	5,189	607	5,796	△80	5,715

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△80百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、のれんの償却額△80百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、当社所有の建物・器具備品について、移転により収益を見込めなくなったことから、当該資産の帳簿価額を備忘価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては51百万円であります。